



# らぶく La・BOOK

2月号  
No.8

## 豊科図書館の

# チャレンジ講座

年間5回開催しています！

この講座は親子で楽しめる内容を基本に開催しています。外部の方や図書館職員が講師を務め、毎回多くの参加者から好評をいただいています。これまでに、  
第1回(5・26)「カンタンふわふわボール作り」  
第2回(6・16)「ビーズで作るストラップ&プレスレット」  
第3回(8・25)「押し花で作るブックエコカバー」  
第4回(11・17)「森の素材でリース作り」  
を行いました。 次회가最終回です。

### 第5回

## 「ペーパークラフトで動物をつくろう」

基本となる型紙は「きつき工房」(安曇野市穂高)からお借りし、動物の形のしおりやメッセージカードを作ります。



開催日時 3月2日(土) 午前10時～12時  
場所 豊科交流学习センターきぼう  
持ち物 はさみ

参加をお待ちしています。

### 中央図書館

## 奮闘!?調べもの日記(レファレンス)

たけいようせつ

### 松沢求策の師 武居用拙

1816(文化13)～1892(明治25)



武居用拙

木曾出身の漢学者。自由民権運動のリーダーとなった松沢求策に、大きな影響を与えた人物です。

江戸に出て昌平坂学問所等で学んだ用拙は、藤森桂谷(※1)に請われて豊科村の宝蔵寺に猶興義塾(ゆうこうぎじく)を開き、この地方の自由民権運動に活躍した人たちの教育に当たりました。用拙の教えは、求策の優れた才能を引き出し、民権思想に目覚めさせ、運動の中心的存在に育てました。求策が松本に運動の結社「奨匡社(しょうきゆうしゃ)」を設立するにあたっては、社名を命名し自ら社員として名前を連ねています。後に求策への支持が冷却していく中でも、用拙は変わらず激励と支援を送ったといわれています。

※1 成相新田町村(現豊科新田)出身の画家、教育者 成新学校長

### 【関係の資料】

『長野県の歴史』塚田正明/出川出版社  
『信州の百年』/信濃毎日新聞社編刊  
『信濃人物伝』/長野県立歴史館編刊  
『自由民権家松沢求策』中島博昭/松沢求策顕彰会  
『木曾福島町誌』第1巻 木曾福島町教育委員会編  
なお、信毎データベースで過去の関連記事を見ることがもできます。

## 私と図書館

さて、新刊コーナーはどこの図書館でも大人気である。街中の大手書店に立ち寄ると、うわさの『新刊本』が所狭しと並べられている。公共図書館も負けずに、とは思うもの…。ならば、限られた予算の中でいかに市民の皆様へのニーズに添えていくかである。「安曇野市図書館選書基準」に従って、公共図書館にしかできない選書をするなど、利用者の皆様の期待に応えるべく努力していきたい。



### 選書あれこれ!

(図書館職員)

「大きい字?これだと読みいい、それじゃ借りていく…」というお年寄りの声。そう、大活字本をもっと購入しなくては…。「アンパンマン、アンパンマンは、ママ…!」という幼児に「じゃ借りていくかね」とやさしいママの声。古くて少し破れていて申し訳ない…。「医学書はどこにあるの?」と問いかければ案内すると、「これだけしかないの?」というつぶやき。

# 1月貸出ランキング

## 一般書

- 1 神様のカルテ2 / 夏川草介
- 2 七つの会議 / 池井戸潤
- 3 神様のカルテ3 / 夏川草介
- 〃 弧愁 / 新田次郎
- 〃 信州の知恵に学ぶ日本一の長寿ごはん / 横山タカ子
- 〃 夜行観覧車 / 湊かなえ
- 7 神様のカルテ / 夏川草介
- 8 虚像の道化師 / 東野圭吾
- 〃 麒麟の翼 / 東野圭吾
- 10 ソロモンの偽証1 / 宮部みゆき
- 〃 旅猫レポート / 有川浩
- 〃 ナミヤ雑貨店の奇蹟 / 東野圭吾

## 児童書

- 1 かいけつゾロリシリーズ / 原ゆたか
- 2 バムとケロのシリーズ / 島田ゆか
- 3 14ひきのシリーズ / いわむらかずお
- 4 だるまさんとかがくいひろしのファーストブック / かがくいひろし
- 5 てんやわんや名探偵 / 杉山亮

## AV資料

- 1 男はつらいよシリーズ / 山田洋次監督
- 2 スタジオジブリの歌 / 徳間ジャパンコミュニケーションズ
- 〃 天空の城ラピュタ / 宮崎駿監督
- 4 山下清物語裸の大將放浪記 / 山田典吾監督
- 5 おばけのてんぷら / せなけいこ
- 〃 母べえ / 山田洋次監督

## 第148回芥川賞・直木賞決まる

- 芥川賞は、『abさんご』 最年長受賞者の黒田夏子さん(75) 全文横書きの独特のスタイル。
- 直木賞は、『何者』 戦後で最年少、平成生まれ初の朝井リョウさん(23)
- 『等伯』 歴史小説の安部龍太郎さん(57)

## 「2013年本屋大賞」/ミネート作決定!!

- ▽『海賊とよばれた男』 百田尚樹 (講談社)
- ▽『屍者の帝国』 伊藤計劃 (丸川) / 円城塔 (河出書房新社)
- ▽『世界から猫が消えたなら』 川村元気 (マガジンハウス)
- ▽『百年法』 山田宗樹 (角川書店)
- ▽『光圀伝』 冲方丁 (角川書店)
- ▽『64 (ロクヨン)』 横山秀夫 (文芸春秋)

## 4月9日(火)に大賞作品発表

- ▽『きみはいい子』 中脇初枝 (ポプラ社)
- ▽『晴天の迷いクジラ』 窪美澄 (新潮社)
- ▽『ソロモンの偽証』 宮部みゆき (新潮社)
- ▽『ふくわらい』 西加奈子 (朝日新聞出版)
- ▽『楽園のカンヴァス』 原田マハ (新潮社)



### ※編集後記※

「一月は行く、二月は逃げる、三月は去る」と言われるとおり、もう立春が過ぎました。「春は名のみ、風の寒さや、谷の鶯、歌は思えど、時にあらずと声もたえず」この時期にびつたり安曇野の詩歌「早春賦」が流れました。図書館には、山田正紀著の同名の本もあります。

## 本のソムリエ(職員)のおすすめ本

### 一般書

### 『近江商人のビジネス哲学』

童門冬二 / NPO 法人三方よし研究所



表紙

大阪商人、伊勢商人と並ぶ日本三大人の1つ「近江商人」。勤勉、儉約、期的視点で物事を考え、地域社会の発に貢献した。その活躍は近江にとどまらず、全国へと広がる。「売り手よし、買い手よし、世間よし」の三方よしの精を始め、彼らが大切に守り抜いたビジネス哲学は、現代にも通じる「日本の心」が存在し、仕事に対する姿勢を改めて考えさせられる一冊です。

(中央図書館一般書担当)

### 児童書

### 『たいせつなことは船が教えてくれる』

藤沢優月 / 金の星社



表紙

長さ 336 メートル、高さ 61 メートルの巨大コンテナ船「オルフェウス」。船は、社会の縮図であり人生にも似ています。限られた空間で個性も立場も国籍も違う人が協力し役割を果たしています。世界を旅する一隻の船を通して、働くということ、人と共に生きるということ、そして世界は広いことを伝えてくれます。

“人生でほんとうに大切なものって何？” 今日が変わるヒントが見つかる1冊です。

(中央図書館児童書担当)

### 編集・発行・お問い合わせ



- 中央図書館 ☎ 84-0111
- 豊科図書館 ☎ 71-4022
- 三郷図書館 ☎ 76-3078
- 堀金図書館 ☎ 72-5796
- 明科図書館 ☎ 62-1122

図書館ホームページ(蔵書・資料の検索もできます)  
<http://www.city.azumino.nagano.jp/tosho/index.html>